資料５-２

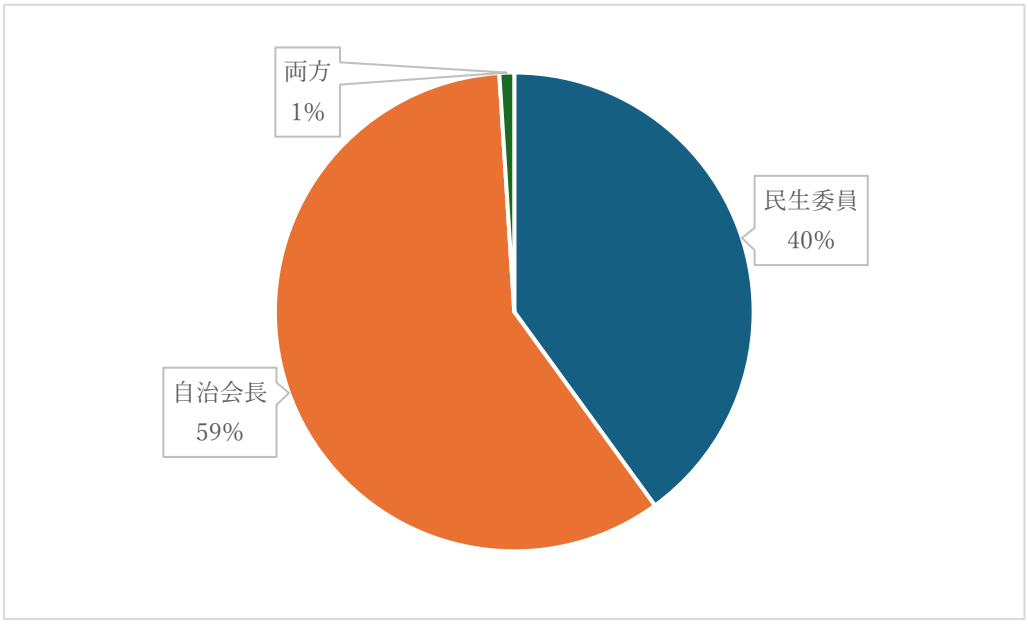
民生委員・自治会長アンケート集計結果報告(口之津・加津佐地区)

（実施時期）
令和８年６月
（対象者）
口之津・加津佐地区の民生委員自治会長
（回収数）
100 件／180 件（郵送や定例会時の配布・回収）
（調査目的）
口之津・加津佐地区内の住民状況を広く把握している民生委員や自治会長に対し、地域の高齢化状況や介護サービスの状況・介護施設への意向・必要性について調査する。

令和８年８月

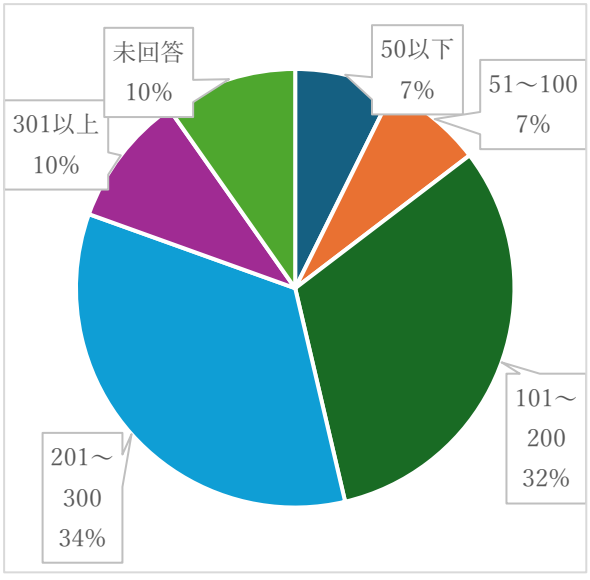
島原地域広域市町村圏組合

1. 記入者の役職は民生児童委員ですか、自治会長ですか。

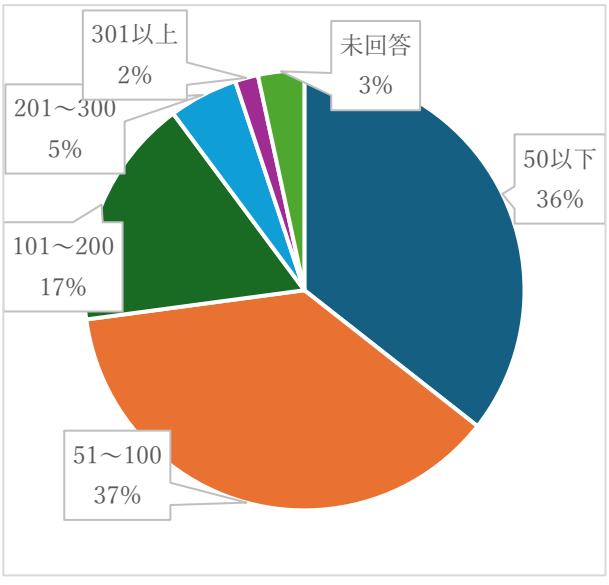


2. 担当区域の住民数は概ね何人ですか？

《民生委員》

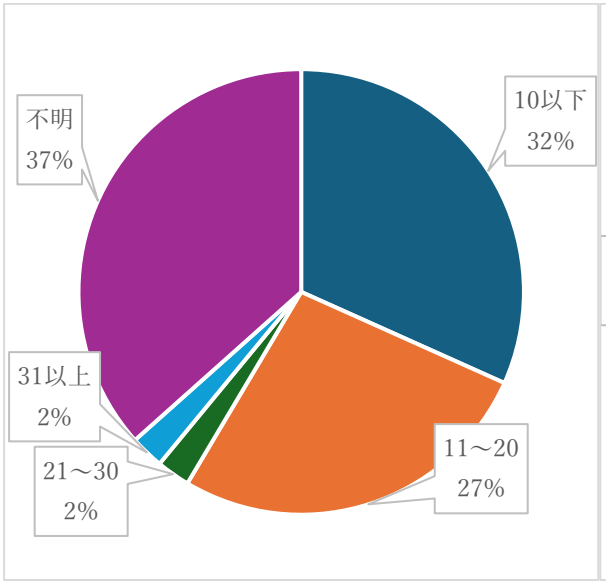


《自治会長》



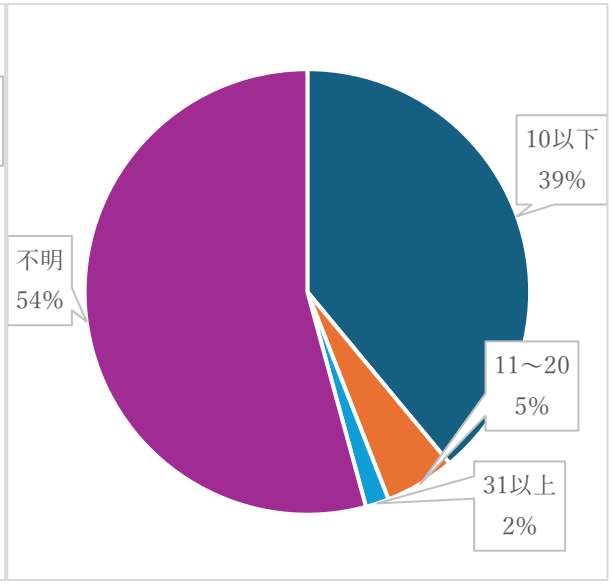
3. うち高齢で要介護等支援が必要な方は概ね何人ですか？

《民生委員》



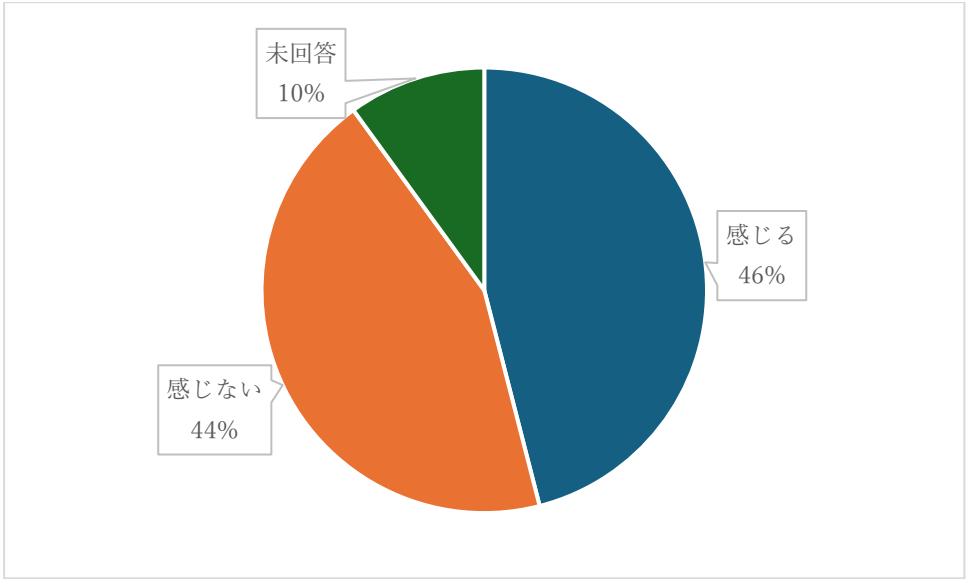
※人数は 10 以下 72 人、11～20 が 179 人
21～30 が 29 人、31 以上が 40 人
合計 320 人

《自治会長》

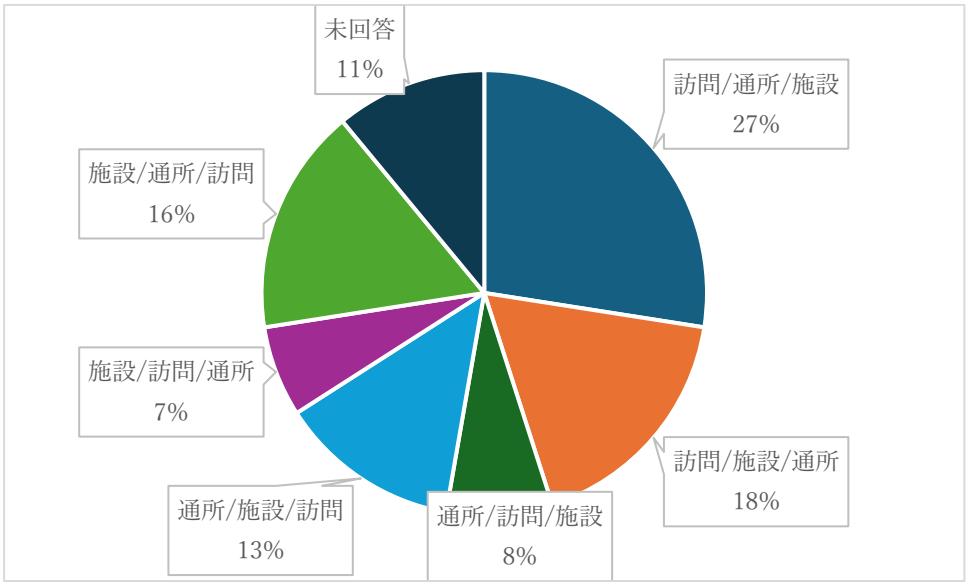


人数は 10 以下 110 人、11～20 が 42 人
31 以上が 40 人　合計 202 人

4. 日頃、必要な介護サービスが不足していると感じることがありますか？



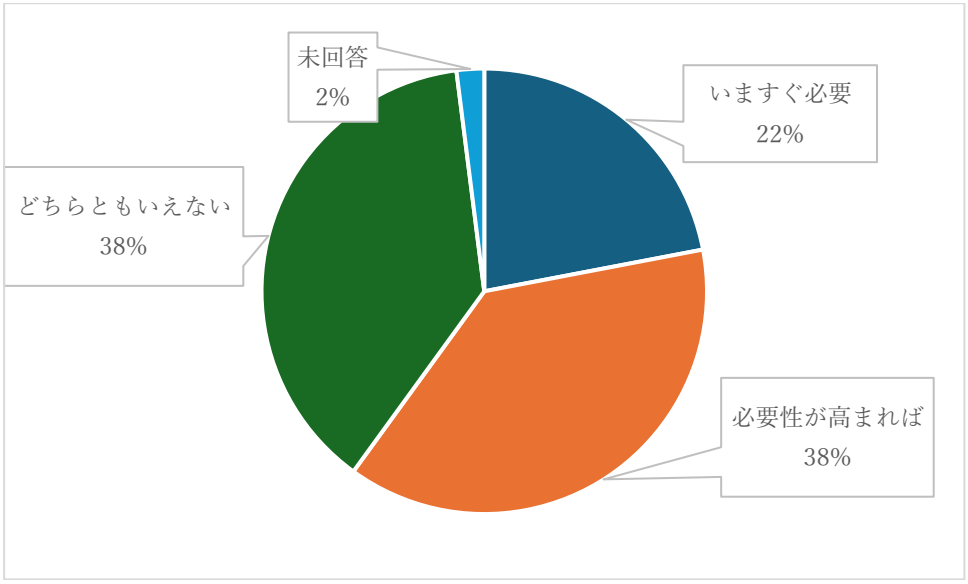
5. 口之津・加津佐地区に足りない介護サービスは、どれだと思いますか。足りていない順に番号をつけてください。 ※(　　)内に1から3を記入



※単独回答:訪問 4 施設 5

単独回答を含んで 1 位のみに限ると訪問 45(50%)、通所 19(21%)、施設 26(29%)

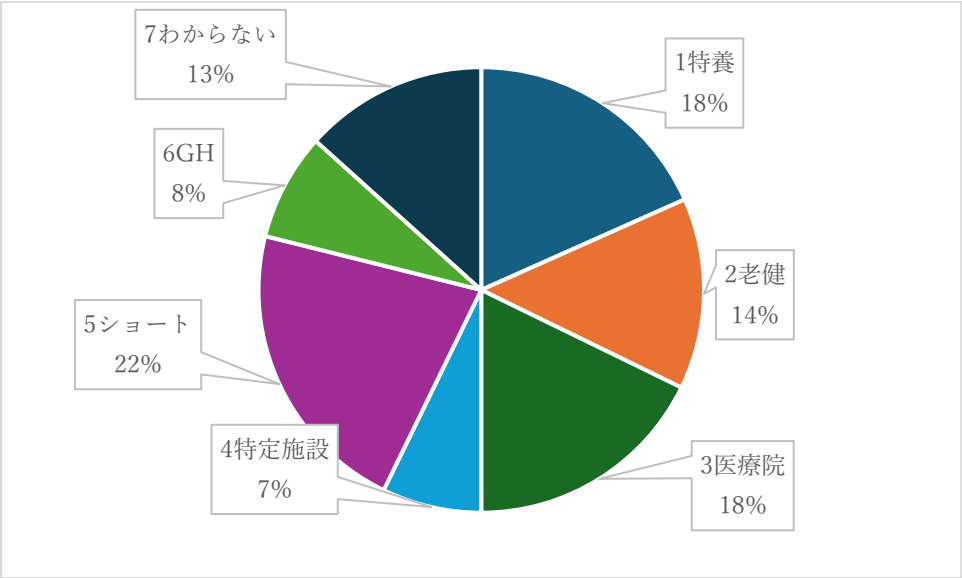
6. 口之津・加津佐地区に、介護が必要な方等困っている高齢者を住まわせる施設が新たに必要だと思いますか？



民生委員:いますぐ必要　5、必要性高くなれば 18、どちらとも 17、未回答 1

自治会長:いますぐ必要 17、必要性高くなれば 20、どちらとも 21、未回答 1

7. 口之津・加津佐地区に特に必要と思われる施設系サービスはどれですか？
　1 特別養護老人ホーム　2 介護老人保健施設　3 介護医療院　4 特定施設
　5 ショートステイ　6 グループホーム　7 わからない



8, 介護や高齢者施策について、ご意見・ご要望があればご記入ください。

《民生委員》
・年々、一人暮らしが増え、今はなんとか暮らしていらっしゃるが、今後の不安を抱えていらっしゃる要介護の方だけではなく要支援・自立の高齢者が気軽に集えるような場所が、歩いて通える場所にできるのが理想。地域の公民館に定期的に保健師さんと顔合わせできていると、色々相談しやすいと思います。
・介護や高齢者施設の内容を全般的に知らない高齢者が多いと思います。介護施設も大変大切なことだと思いますが、特に加津佐地区においては身近な医療機関が必要だと感じます。
・施設設置も大事ですが、その前に介護職員の人員確保が課題ではないかと思います。
・どんどん人口が減少するこの地域には、施設は十分だと感じます
・自宅で少しでも長く生活するために何が必要かを考えた方がよいのではと思います。
・介護に関わる人材の確保も急務だと思います。”
・国民年金だけで生活されている高齢者がほとんどで、皆さん金銭的な余裕があまりなく、高額料金が発生する施設には入所しづらいと思われます。家に住んで手が足りないことをもっと簡単に手続きをし、支援を受けるそのようなスムーズな流れがほしいですね。
・どのような施設が今必要かというよりも、どんな状態になると施設入所及び利用が可能になり、そこで口之津・加津佐地区にはこれらの施設がありますよ、ただし入所するには、あなたは何番待ちですよの方が親切だと思う。母の実体験で申込み、待っていたが、市外の施設でなくなった。結局何番

待ちだったかは教えて貰えないのでわからないが、可視化するべきだと思う。入所者は立場が弱いので、言われるがままで文句が言えない。これらのことは実際、母の介護、施設入所中のなかで、私が感じたことです。市外の施設で母の看取りをさせてもらったので、加津佐・口之津地区にこだわらないで選択を広げていってもいいのかもしれません。

・加津佐町に特別養護老人ホームの入所待ちの方々が 20 人以上おられるショートステイも3か月前に手続きしないといけない。町外ならという人もいる。
・民生委員をしています。高齢で単身の方が増加しているなかで、日々訪問活動を行っていますが、昼間はデイサービスに出かけられたり、又知らずのうちに施設に移られたりする方もおられたりで、情報を把握することが難しくなっています。地域のコミュニティに参加されない方もおられたり、必要な福祉の情報が伝わらない方もいるようです。
・民生委員に委嘱されて間もないので、調査に答えるのが難しい所もあります。介護施設に入所待ちの人が多い。
・空き家となっている旧特別養護老人ホーム（加津佐町道原）の活用を考えては。
・高齢者が増加するなか、認知症の高齢者も増加する傾向にあります。健康維持、認知症予防は必須です。高齢者が集える場所を増やす等対策が必要です。又、質の良い介護が出来るよう、介護者に対しても勉強会・セミナー等の開催を増やしてほしいと思います、介護者の担い手不足も深刻です。
・施設サービスがあっても、独居でも持ち家率が高く、デイも入所も嫌がる人が多いと感じる。家族がいればすすめもあってサービスを受ける。一度介護サービスを受けると、続ける意向になるので試しにと勧めている。金銭面もあるが、ハードルは高いと思われる。
・高齢化が進むと介護が必要な方が増え、併せて介護をする人も増えます。加えて少子化と核家族化などで世帯構成人数が減少していることなどから、ケアラー一人一人の介護負担も増える傾向にあります。⇒町全体で支える体制が必要である。
・地区に本当に介護が必要な方がどれくらい存在されているのか、情報として憶測でしかない（個人情報の関係で）民生委員としてできることは限られていると思う。その中でなにができるか…行政や福祉に繋げられたらと思っている。
・新たな施設を増やす必要は現状なく、時期尚早だと思います、
・入所を希望する施設が見つかっても、収入の面で仕方なく他の施設に入らざるを得ない高齢者もいるとのこと。
・介護保険サービスを利用できるのに、公知不足などで受けていない高齢者もいるようだ（無知が原因の場合あり）。
・病院を退院しなければいけない時期に、次に入院できる受け入れ先が見つからず困る場合があります。
・久木山西自治会は高齢者や一人暮らしの見守り等を自治会ぐるみで実施している。（具体例）班で配布物や、回覧板を回すときに、一声掛けてあいさつを行う。（役員や班長に周知依頼）
・口加地区は、高齢化率が高く、今後要介護が必要な方が増えるので、各施設系サービスが後手に回ることがないように、早めに対策を図ってほしいです。

《自治会長》

・加津佐の病院
・独居老人への対策を、毎日の連絡の確立、近辺住民への情報共有（声かけ・見守り）
・介護に対しての負担金が年々高騰しており、年金受給者には大変だと思います（特に国民年金）。それに伴って介護を受けたくても受けれない時代になるのではないかと心配しております。対策としては、介護ボランティアの充実を目指すべきだと思ってます。
・施設必要と考えるが、それ以上に介護職員の知識・技能の向上を考えないといけないと思う。そのためには給与面の改善が必要だと思う。職員の生活に余裕が出ないと利用者にやさしくできないと思う。
・介護必要な方のリストに上がっていなくても、予備的な方の把握をお願いします。そして、ときどき訪問していただければ。施設よりも日常のケアが必要だと思っています。目配りをお願いします。介護担当部の方は民生委員となるのでしょうか。しかし、部落の人のなかで、民生委員が誰なのかを知っている人は何人ほどの方なのか。民生委員（介護担当の方）の周知をお願いしたいです。
・新たな施設の設置については、今後係る関係コストがかかっていくことは予測できるし、利用者負担（保険料等）も大きくなっていくものと考えられる。必要性が高いものから設置するでよいと思うが、介護職員等働き手の不足・確保困難になっていくなかで、人員の基準が満たせず、事業を縮小・廃止した業者もあると聞く。良い働き手を育てるのには時間もお金もかかる上にすぐやめていく状況をどこかで変えていかないことには、施設の質の向上は見込めないのではないでしょうか。
・高齢者で要介護2～3の人が入院すると、すぐに要介護4～5になる。病院の期限の縛りで退院すると、入所する施設は特別養護老人ホームに限定されるが、すべての特別養護老人ホームはいっぱいで入所できない。そこに入るまでのショートステイもいっぱいで順番待ちの状態である。どうしたらいいのかよく考えて対策すべきである。
・年々高齢化が進んでいます。独居の方も大勢います。今はご自身で生活できていますが、いつ介護が必要になるかもわかりません。施設も一朝一夕にできるものではありません。長期的展望も踏まえ、早めの準備が必要なのではないでしょうか？
・加津佐地区に病院（医療施設）誘致　令和8年5月現在無し
・R8.4 月から自治会長になったばかりであまり把握出来てません。すいません。
・独居・老夫婦世帯が増えている。自宅で過ごせる工夫をして「最後まで自宅」を希望する人は、大多数おられると思います。認知症が進むと在宅での生活は難しくなります。適度に体を動かし、地域とのコミュニケーションを図り老後を楽しく元気で暮らせますように。